

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2002-178573(P2002-178573A)

【公開日】平成14年6月26日(2002.6.26)

【出願番号】特願2000-380375(P2000-380375)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/42 (2006.01)

B 4 1 J 15/04 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/42 A

B 4 1 J 15/04

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月11日(2007.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の小シート材を担持するシート材を搬送する搬送手段と、
前記各小シート材に対して記録を行う記録手段と、
記録すべき前記各小シート材のうちの最後の前記小シート材の後端部、または記録が終了した前記各小シート材のうちの最後の前記小シート材に続いて記録がなされる前記各小シート材の前端部を検知する検知手段と、

前記シート材が第 1 の方向に搬送される際の、前記シート材の搬送量に関連する、カウント可能な信号を、前記検知手段からの検知信号をトリガとしてカウントを開始するカウント手段と、

前記シート材を、前記カウント手段によりカウントされたカウント値に基づき、前記第 1 の方向と逆方向である第 2 の方向に、前記第 1 の方向に搬送された搬送量だけ戻すように前記搬送手段を制御する制御手段と、を有する記録装置。

【請求項 2】

前記カウント手段は、前記シート材の前記第 1 の方向への搬送が終了して、前記搬送手段が停止するまで前記信号をカウントする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記カウント手段は、前記搬送手段を制御する搬送部制御手段から前記搬送手段に対して出力される制御パルスをカウントする請求項 1 または 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記カウント手段は、前記第 1 および第 2 の方向である副走査方向に交差する、主走査

方向の同期基準を示す主走査同期信号をカウントする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記カウント手段は、記録すべき前記各小シート材のうちの、最後の前記小シート材への記録が終了するまで前記信号をカウントする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 6】

台紙である前記シート材上に担持された、ラベルまたはタグ用紙である前記各小シート材に前記記録手段により記録を行う請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記記録手段は、インクの吐出を行う、少なくとも 1 つの記録ヘッド部を有する請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 8】

複数の前記記録ヘッドによりフルカラーで記録を行う請求項 7 に記載の記録装置。

【請求項 9】

前記記録ヘッドは、前記小シート材の幅に相当する記録幅を有するフルライン記録ヘッドである請求項 7 または 8 に記載の記録装置。

【請求項 10】

前記搬送手段は、前記シート材として、ロール状に巻かれている連続紙を搬送する請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 11】

前記搬送手段は、前記シート材として、Z 状に折り重ねられているファンフォールド紙を搬送する 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、連続紙からなるシート材である台紙に担持されたラベルまたはタグ用紙などに記録を行う記録装置に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

そこで、本発明は、シート材の逆搬送量の算出が簡易、かつ、正確に実現できることによって、安定した出力結果を得ることができる記録装置を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、本発明の記録装置は、複数の小シート材を担持するシート材を搬送する搬送手段と、前記各小シート材に対して記録を行う記録手段と、記録すべき前記各小シート材のうちの最後の前記小シート材の後端部、または記録が終了した前記各

小シート材のうちの最後の前記小シート材に続いて記録がなされる前記各小シート材の前端部を検知する検知手段と、前記シート材が第 1 の方向に搬送される際の、前記シート材の搬送量に関連する、カウント可能な信号を、前記検知手段からの検知信号をトリガとしてカウントを開始するカウント手段と、前記シート材を、前記カウント手段によりカウントされたカウント値に基づき、前記第 1 の方向と逆方向である第 2 の方向に、前記第 1 の方向に搬送された搬送量だけ戻すように前記搬送手段を制御する制御手段と、を有する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

上記の通り構成された本発明の記録装置は、検知手段が記録すべき各小シート材のうちの最後の小シート材の後端部、または記録が終了した各小シート材のうちの最後の小シート材に続いて記録がなされる各小シート材の前端部を検知する。そして、カウント手段により、シート材の搬送量に関連するカウント可能な信号をカウントし、制御手段がこのカウント値に基づき、シート材を、搬送された搬送量だけ戻すように搬送手段を制御する。このため、記録がなされていない小シート材に記録を行うためのシート材の逆搬送量の算出を、シート材搬送装置の機械的設計値や、シート材のマークの有無に影響されることなく行うことができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

また、本発明の記録装置のカウント手段は、シート材の第 1 の方向への搬送が終了して、搬送手段が停止するまで信号をカウントするものであってもよいし、搬送手段を制御する搬送部制御手段から搬送手段に対して出力される制御パルスをカウントするものであってもよいし、第 1 および第 2 の方向である副走査方向に交差する、主走査方向の同期基準

を示す主走査同期信号をカウントするものであってもよいし、さらに記録すべき各小シート材のうちの、最後の小シート材への記録が終了するまで信号をカウントするものであってもよい。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

また、本発明の記録装置の記録手段は、インクの吐出を行う、少なくとも1つの記録ヘッド部を有するものであってもよいし、特に、複数の記録ヘッドによりフルカラーで記録を行うものであってもよく、記録ヘッドは、小シート材の幅に相当する記録幅を有するフルライン記録ヘッドであってもよい。

また、搬送手段は、シート材として、ロール状に巻かれている連続紙を搬送するものであってもよいし、あるいは、シート材として、Z状に折り重ねられているファンフォールド紙を搬送するものであってもよい。